

# 一般質問

計画に基づいて実施しております。学校再編基本計画に基づき望ましい在り方を懇談会等を開催し進めてまいります。前沢小学校統合は合併効果と思います。検討委員会を立ち上げ、通学路整備等開校までにできるだけ対応してまいります。

**質問** 経済不況、人口減少、仕事がなく市民は元気を失い疲弊しています。合併特例債は260億円で事業実施されてますが、状況変化により見直しの必要が生じているのではないかと。特例債も借金ですがもっと活用し、奥州市を活性化すべきです。市長の考えを伺います。

**市長** 21年度末で、ルール内と広域分で48%、ルール外37%の進捗です。見直しは各区の合意事項で簡単なことではありませんが、地域協議会と協議しながら年度の標準化等を見直したいと思えます。今後奥州市全体の事業としてウエイトが高くなるので実感が出てくると思います。合併特例債は有利な起債なので、住民理解を得て財政状況をみながら増額活用を検討してまいります。

○災害時要援護者の対策について  
○予防接種・ヒブワクチンについて



あべかよこ 阿部加代子

**質問** 災害が発生した時、自らを守るため安全な場所に避難する等災害時の一連の行動を取るのに支援を必要とする災害時要援護者の把握について伺います。

**市長** 要援護者の把握につきましては、今後、高齢者台帳システムを整え一人暮らし高齢者、寝たきり高齢者等を把握して災害時にも役立ててまいります。

**質問** 要援護者避難支援計画の策定について伺います。

**市長** 要援護者の把握方法、要援護者情報共有方法、要援護者の支援に関する事項等に関係機関と協議しながら平成22年度を目途に策定したいと考えます。

**質問** 自助、共助を基本とし自主防災力の向上が重要です。自主防災組織の現状について伺います。

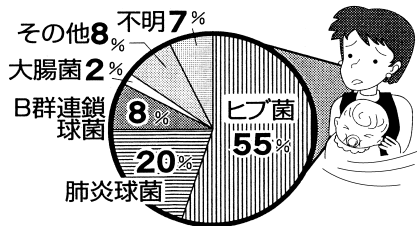
**市長** 結成状況は平成22年1月末現在181組織、加入率51・9%となっておりあります。60%加入に向け取り組みます。

**質問** 救急情報を要援護者、一般家庭でも保管方法、場所を統一すべきではないか伺います。

**市長** 関係機関で協議いたします。ヒブ菌に対するワクチン接種に助成すべきではないか伺います。

**市長** 国の動向を踏まえ、ワクチンのメリット、デメリットを慎重に検討してまいります。

## 細菌性髄膜炎の原因菌



砂川慶介、他：本邦における小児細菌性髄膜炎の動向（2005-2006）  
感染症誌 82：187-197, 2008 より

※細菌性髄膜炎：脳や脊髄（せきずい）を覆う髄（ずい）まく膜に細菌が侵入して炎症が起きるもの。

この原因菌は、ヒブ菌と肺炎球菌、新生児ではB群連鎖球菌と大腸菌が多く、この4種類の菌が起炎菌の8割を占めている。

Hibは、19世紀後半にインフルエンザ患者のたんから見つかったことから名付けられたが、ウイルスが原因であるインフルエンザとは関係ない。子どもの数%が鼻の奥やのどに保菌し、多くは症状が出ずに菌が消える。ほとんどの患者が5歳

未満。

原因の約6割がヒブ、約2、3割が小児肺炎球菌とされている。ヒブの場合、国内では少なくとも年600人ほどかかり、5%が死亡、4分の1に難聴、脳性まひなどの重い後遺症が残るとの報告がある。WHO（世界保健機関）はヒブ、小児肺炎球菌ともワクチンの定期接種を推奨している。ヒブワクチンは一昨年12月に販売開始。小児肺炎球菌ワクチンは今春に販売予定だ。

髄膜炎菌の感染による急性の化膿（かのう）性の髄膜炎。高熱・嘔吐（おうと）・痙攣（けいれん）などがみられる。小児に多い。感染症予防法の5類感染症の一。法的には髄膜炎菌性髄膜炎とよぶ。

○地上デジタルテレビ放送の対応  
○通学路の安全対策



すがわらあきら 菅原あきら

**質問** 2011年7月24日までに「地上デジタル放送」は完全移行になります。胆沢区や衣川区の一部では、視聴が困難な地域があるので、その解消のため、現在、補助事業を活用し、テレビ共同受信組合を組織し、難視聴解消の取り組みが進められています。しかし、この事業は初期投資に多額の個人負担が強いられますので、単独補助